

みやざきうまいもん市場開催!

生産者、飲食業界、消費者をはじめ、宮崎県民の皆様へ、地元食材の美味しさを再確認し、関心を高めていただけるよう「元気」をテーマに地産地消パワーマーケットを開催します!

JA宮崎経済連グループの取扱商品はもちろん、みやざき地頭鶏や水産物、宮崎県商工会議所と連携した商品の販売を行いますので、皆様ぜひお越しください!



○日付 11月19日(金)~21日(日)
○場所 イオンモール宮崎店南側駐車場特設エリア

(当イベントは新型コロナウイルス感染症対策を実施して行います。また、感染状況によっては、実施内容の変更や中止の可能性がございます。)

宮崎牛の情報をLINEで配信!

JA宮崎経済連肉用牛課では、宮崎牛の魅力や情報をLINEで配信する取組を始めました。

宮崎牛の情報はもちろん、現在開催中の「宮崎牛×ハローキティ」キャンペーンもLINEから応募できます!(※応募条件あり)

そのほか、様々な企画を予定しておりますのでお楽しみに♪

毎月100名様にオリジナルマスクがあたるLINEお友だちキャンペーンも実施中です。ぜひ、LINEのお友達登録をよろしくお願ひします。



宮崎牛LINE登録はこちらから!



ニッポンエール日向夏

JA全農と(株)伊藤園がメーカーや販売先と協力して行うキャンペーンの第一弾として、宮崎県産日向夏の果汁を使用した清涼飲料水を共同開発しました!

日向夏の特長である白皮も使用されており、すっきりとした美味しさとさわやかな香りが楽しめる商品です。

3社で実施した合同オンライン発表会で、坂下本部長は「実際の果実の味わいにとても近い商品ができたと思う。多くの方に飲んで頂き、果実を食べるきっかけになってほしい。」とメッセージを送りました。



宮崎県産日向夏を使用した清涼飲料水
商品のPRを行う坂下本部長

野菜生活100日向夏ミックス販売

カゴメの野菜生活100の日向夏ミックスが販売されました!今回は、日向夏発見200年のプロモーションもかねて、首都圏の生協などでも販売されました。

夏休み期間中は、JR九州の海幸山幸とのコラボ企画を実施!海幸山幸の車内販売をご利用いただいたお客様に野菜生活100日向夏ミックスと日向夏のクリアファイルのプレゼントを行いました。



野菜生活100日向夏ミックス



みやざき犬ひいくと海幸山幸



みやざきブランド『かわら版』

No.6
2021年
秋号

みやざきブランド推進本部(宮崎県・JA宮崎経済連)

みやざきブランド産地の動きや品目ごとの取り組みを広く紹介するみやざきブランド『かわら版』。

今回は、みやざきブランド推進地域本部・県外営業所との意見交換会の実施、ひなたGAP、ブランド・バリューチェーンパートナーの取組、各種プロモーションについて紹介します。

ブランド戦略

信頼される産地づくり

特長ある商品づくり

安定的な取引づくり

令和3年度トピックス

1 信頼される産地づくり 地域・県外との意見交換会を実施しました

◆みやざきブランド推進地域本部・県外営業所との意見交換会を実施

みやざきブランド推進本部では、県内7つの推進地域本部(各地域農林振興局やJA等)と東京、大阪、福岡の3か所にある県の県外事務所やJA宮崎経済連の営業所と連携してみやざきブランドを推進しています。

本年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策としてWeb会議による意見交換を行いました。

みやざきブランド推進本部 事務局長 松田 義信



コロナ禍で消費者ニーズが大きく変化する中でも「さすが宮崎の農産物だ」と言われたいですね。産地の皆様の努力・取組がそのまま「みやざきブランド」の価値につながりますので、一丸となって信頼される産地づくりを進めましょう。

令和3年度 みやざきブランド推進対策事業計画

- 特徴ある商品づくり**
 - 消費者に選ばれる商品づくり
 - 商品ブランド認証制度の見直し
 - 世界市場を見据えたみやざきブランドの展開
- 信頼される産地づくり**
 - 「GAP」による経営改善と安全・安心な産地づくりの推進
 - 「持続可能な農業生産」に向けた取組
- 安定的な取引づくり**
 - 多様化するニーズに対応したルート販売の強化
 - 新しい生活様式に対応した取引づくり
 - 「Karada Good Miyazaki」を基軸とした「ココロを掴むファンづくり」の推進
- 新たなみやざきブランド推進方針の策定**

地域本部の意見

- 生産者にメリットがあるような対策に取り組んで欲しい。新型コロナウイルス感染症の影響等で厳しい販売状況ではあるが、販売価格に反映できる取組をしてほしい。
- 人員不足等による物流コストや集荷場・選果場の運営が心配である。物流や労働力などは県域で解決できるような取組ができないか。
- ICTを活用し、栽培管理や収量等に関するデータの一元化、GAP業務の効率化ができないか。
- GAPは、異物混入や農薬・農作業の事故といったリスクから、産地を守るための取組である。取組に温度差があるため、各地域の実情に即した取組が必要である。

県外営業所の意見

- 一部の品目では、取引先が希望する数量に対応できない状況が発生している。今後、ブランドを維持するためには安定供給が必要であり、産地の生産基盤の維持・拡大が必要である。
- 新型コロナウイルス感染症の影響による飲食店やイベント需要の冷え込みを実感している。一方で、食料品のネット販売へのシフトや中食需要の高まり等の状況の変化に対応した取組が必要である。

2 信頼される産地づくり

◆JA都城いちご専門部会がひなたGAP団体認証を取得！

JA都城いちご専門部会(9名)が令和3年2月8日付けでひなたGAP団体認証を取得しました。

部会では、消費者の皆様へ安全で新鮮ないちごを提供するために、令和元年度から認証取得に向けて取り組み、部会員と関係機関が一体となり、ひなたGAPに関するルール作りやほ場・作業場所の環境整備を行いました。県内でのいちご部会のひなたGAP取得は初めてです。

JA都城いちご専門部会 会長 **坂之下 孝一 さん**



多くの方々の指導があり、ようやく団体認証を取得することができましたが、まだまだこれからの課題があります。部会全員でGAPに取り組み安心・安全で市場や消費者から選ばれる産地にしていきたいと思えます。



ひなたGAPを取得したいちご専門部会員の皆さん

27 日曜日 作業内容 行事	28 月曜日 作業内容 行事	29 火曜日 作業内容 行事	30 水曜日 作業内容 行事	<p>□毎日健康チェックしましたか? □毎日手洗いをしましたか? ※出来たら口にチェックしてください</p>
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	--

※作業内容は、記録内容(農薬名・回数・濃度の割合、施肥内容(肥料名・量)、灌水、定植等を記入して下さい。)
※散布器具の洗浄を行った場合は右下の□にチェックを入れて下さい。
※その他で記入事項等があれば、都度記入し、空欄を利用して下さい。 毎月必ず提出しましょう!

JA認定責任者(支所) JA認定責任者(本部)

JA都城 いちご栽培記録カレンダー

ここがポイント!

JA都城いちご部会では、独自のカレンダーを作成し日々の作業や、散布機の洗浄、健康や衛生面を合理的に記録しています。

◆ひなたGAPの制度が変わります



宮崎県版GAPである「ひなたGAP」は、令和3年7月に制度を改正しました。団体認証を推進するとともに、より使いやすい制度となるよう規定を変更しました。

「ひなたGAP」は、分かりやすく取り組みやすいGAPです。GAPの実践や国際水準GAPに取り組む前のファーストステップとしてもご活用ください。

【主な改正点】

1 認証者

◆認証の対象者は、農業者の団体(部会やグループ等)、農業教育機関です。ただし、**令和4年3月31日までは、個人、法人も認証を申請できます。**認証を取得済みの個人、法人は認証を継続します。

2 審査時期

◆初回審査と更新審査は、栽培及び収穫が確認できる時期に実施します。
◆初回審査を収穫時期に受審できなかった場合のみ維持審査を実施し、更新審査以降の維持審査は廃止します。



各種様式は
県ホームページ
から確認!



ひなたGAP 検索

3 安定的な取引づくり

◆みやざきブランド・バリューチェーンパートナーの取組をご紹介します!

みやざきブランド推進本部では、みやざきブランドの価値(バリュー)を理解頂き、安定した取引づくりを目指し、組織相互の信頼関係構築を進める取引先を「ブランド・バリューチェーンパートナー」と位置づけ、取引拡大に努めています!今回は各パートナーとの取組をご紹介します。

◆新米の販売開始にあわせたプロモーションを行いました!

(イオン九州(株)、エーコープみやざき)

イオン九州(株)、エーコープみやざきの一部店舗において、新米の販売開始にあわせたプロモーションを実施しました。新米をPRする売場づくりやプレゼントの配布、お米と漬物等のセット商品の販売を行いました。

イオン九州(株) 宮崎商品部長

加行 武男 さん



地産地消の取組として、新米の時期にあわせた予約販売やごはんにあう漬物・レトルトカレーとのセット商品を販売しました。今後も、みやざきブランド商品や特産品を旬の時期にお客様にお届けします。



イオン九州宮崎店売場の様子

◆九州屋



- 関東を中心に全国84店舗を展開する青果専門店
- 例年3月に「Karada Good Miyazakiフェア」を実施
- 栄養機能食品の説明を行う推奨販売
- 九州屋のWebサイトでもみやざきフェアを実施

◆京都生協



- 京都府で18店舗を展開
- 例年完熟きんかん「たまたま」の解禁にあわせて売場づくりのコンクールを実施
- 長年の取組により、職員が宮崎県産青果物に詳しくなり、しっかりPR

◆(株)フジ

この街に、あってよかった。



- 愛媛県松山市が本家で、四国・中国地方に101店舗を展開
- 12~5月にかけて「みやざき棚」を設置
- デジタルサイネージを活用した宮崎県産青果物のPRを実施

◆エーコープみやざき



- 宮崎県内で32店舗を展開
- 宮崎県産農畜産物や加工品の豊富な品ぞろえ
- 旬の美味しい商品をいち早く宮崎のお客様にお届け